

# 真声会 会報

第 53 号

2011年11月15日  
発行

発行所

京都市立芸術大学音楽学部同窓会真声会  
〒610-1197 京都市西京区大枝番掛町13番地の6  
京都市立芸術大学音楽学部内  
TEL (075) 334-2222 FAX (075) 334-2345  
同窓会事務局 TEL (080) 6185-4494  
e-mail : shinsei@kcua.ac.jp  
http://shinseikai-kcua.com/

## 総 会 報 告

7月10日(日)午前10時より、からすま京都ホテルにおいて、2011年度の総会が開催されました。

会員総数3069名でしたが、物故者が69名おられたので、現会員数は3000名となります。そのうち、出席者18名、委任状有効総数283通(無効46通)で成立しました。今回の総会成立数については、ぎりぎりでの開催であったことをご報告いたします。

大村益雄会長の開会の言葉に続き、松本真理子副会長が議長に選出され、進行しました。

議題は以下の通りです。

1. 2009年度・2010年度事業報告について  
委員会開催状況、130周年事業、HP開設、同窓会事務室開室
2. 2010年度会計報告、ならびに監査報告について  
2010年度会計報告、130周年会計報告ならびに寄付報告
3. 旧役員の解任と新役員候補の紹介と承認
4. 2011年度予算案について
5. 質疑応答

大西多恵子新副会長閉会の言葉により、総会は無事終了しました。

総会に引き続き、学生代表委員の大井卓也さんも加わり、懇親会がもたれました。

美味しい料理と参加者ひとりずつのスピーチを交えたなごやかな交流の時、楽しい時間を過ごしました。



### 新役員の紹介(敬称略)

会 長	大村 益雄 (1期作曲)
副 会 長	大西多恵子 (10期声楽)
副 会 長	松本真理子 (15期打楽器)
運 営 委 員 長	佐々木 研 (10期打楽器)
編 集 委 員 長	朴 実 (12期作曲)
理 事	小川 隆宏 (5期ピアノ)
理 事	金森 重裕 (6期クラリネット)
理 事	三井ツヤ子 (16期声楽)
理 事	山本 千壽 (17期ピアノ)
理 事	杉中 博 (19期トランペット)
理 事	土居 知子 (35期ピアノ)
計 画 員	佐藤 敏子 (17期声楽)
計 画 員	木下 亜子 (40期ピアノ)
監 査 員	伊吹 元子 (12期ピアノ)
監 査 員	樋上 由紀 (19期ピアノ)
監 査 員	青谷 哲也 (15期声楽)
監 査 員	奥田 聖子 (48期声楽)
監 査 員	石若 雅弥 (50期作曲)
監 査 員	中村 公俊 (51期ヴァイオリン)
監 査 員	佐渡 春菜 (55期ピアノ)
支 部 長	大村 益雄 (1期作曲)
支 部 長	下山 忠良 (3期打楽器)
支 部 長	島津与外次 (5期声楽)
支 部 長	山田 晏子 (10期声楽)
支 部 長	田淵 幸三 (14期声楽)
支 部 長	高橋せつ子 (16期打楽器)
支 部 長	杉中 博 (19期トランペット)
支 部 長	中島百合子 (19期作曲)
支 部 長	大井 卓也 (3回生声楽)
支 部 長	近野 剛(ピアノ) 宮下 悠(トロンボーン)
支 部 長	小西果林(ヴァイオリン) 本智 敬(声楽)
支 部 長	寺谷 糧(トロンボーン) 藤田翔吾(テューバ)
支 部 長	林みどり(コントラバス) 生田智子(ピアノ)
支 部 長	菊田義典(42期声楽) 村辺恵奈(53期声楽)
支 部 長	田 呈媛(院24期フルート・博1)
支 部 長	上村 昇(20期チェロ) 大嶋義実(26期フルート)
支 部 長	日紫喜恵美(30期声楽)
支 部 長	中村典子(32期作曲)(リエゾン担当)
学 内 ア ド ヴ ァ イ ザ ー	

## 会長就任2期目のご挨拶

真声会会長 大村 益雄 (1期 作曲)

### 戦後の京都楽壇

早や、卒業してから50年以上が経ちました。卒業後直ぐに、中学校で音楽の先生をしたり、子どもの音楽教室で早期音感教育に携わったり、また学生に戻って4年間、京都大学の哲学科で音楽美学を学んだり、さらには、松下電器の研究所で電子楽器の研究をしたり、シンセサイザーのローランドでは、コンピュータ・テクノロジーを活用した音楽教育を世界に広めるなど、海外の音楽関連大学や音楽教育家との交流を持ち、広く音楽普及の活動をしてきました。その間、非常勤で、大阪や京都の大学で幾つかの芸術関連の講座を持つなど、業種の異なる様々な仕事も経験してきました。また、真声会の会長も、10年間隔位で、何度か務めさせて頂き、半世紀を超える日本や世界の音楽社会の変貌をつぶさに見てきました。クラシック音楽は、優遇された時代から、選別される時代へと、大きく変わってきています。

中学生になってからピアノを始めた私は、京都に住んでいて恵まれた、と思っています。太平洋戦争が終わり、日本は初めての敗戦を経験しました。京都と奈良は、幸い千年以上の文化的伝統があったので、アメリカ人有識者の配慮により爆撃を免れ、学校や家庭にピアノが焼けずに残っていました。東京や大阪に比べて、戦後直ぐにピアノの勉強がしやすい環境であったのです。

当時のアメリカ占領軍は、精神文化を高めるために、西洋の音楽教育を助成する方針を、京都で容認し、1948年、京都市立堀川高等学校音楽コースが発足し、1952年、京都市立音楽短期大学が作られ、その後、美術大学と合併して、1969年、京都市立芸術大学の音楽学部として発展してきました。そして、来年は、音楽学部設立60周年を迎えることとなります。

### 音楽学部の歴史を踏まえた60周年の意義と、真声会運営のための継続的会費納入促進の必要性

昨年は、京都市立芸術大学創立130周年でした。日本で最古の歴史を持つ芸

術大学ですから、対外的にも数多くの記念事業を行い、その存在を強くアピールし、成功をおさめてきました。しかし、音楽学部設立60周年は、対外的に、その存在を誇示することではなく、組織内部の基礎固めを行うことが大切だと思います。内部の意識を高める60周年にすべきです。クラシック音楽を取り巻く環境は、昔のように、社会的羨望の眼差しで見られるという環境ではありません。当然のことですが、芸術の社会的存在価値に根ざした厳しい評価を、常に受けなければなりません。学生も卒業生も大学教員も協力して、社会的存在価値を高める活動を、今まで以上に行う必要があります。近く、京都市立芸術大学は、独立行政法人として、新しい意識の基で大学運営がなされていきます。真声会会員相互の音楽活動を助長し、大学の発展に寄与するために、会員全員の協力が必要です。130周年記念事業の時には、2年間に亘り寄付キャンペーンを行い、多くの会員から2度目、3度目と、貴重な寄付金をお寄せ頂き、お陰様で関連事業に有効に使わせて頂きました。本当に有り難うございました。そして、60周年は、また有志者からの寄付を仰ぐこととなるうかと思いますが、その節は、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、音楽学部設立60周年を迎えるに当たって、会員相互の活動を支え、真声会の存在価値を高め、更に大学への支援も強固なものにしていく必要があります。そのための運営費用は、真声会会費で賄われています。真声会の継続的な活動を支えるために、みんなが協力して、継続的に会費を納めるという意識を定着させる必要があります。60周年を機会に、会員の、年会費納入率を更に高めるキャンペーンを力強く行い、活動資金を継続的に確保し、真声会そのものの価値を更に高める運営をしていくべきだと思います。既に会費を納入して頂いている会員には、深く感謝の意を表します。そして、今まで会費未納であった会員には、今まで以上に、本部の運営役員、会計役員、年度委員から、強く納入をお願いしていきたく思います。その上で、60周年以降の、真声会と大学と社会の発展に、共に協力し、参加し、貢献していきたいものだと思っています。

### 決算報告と予算案

#### 京都市立芸術大学音楽学部同窓会「真声会」 2010年度 会計報告 (2010年4月1日～2011年3月31日)

収 入		支 出	
内 容	内訳金額	内 容	内訳金額
前年度繰越金		援助金	
今年度会費納入 入金(71名)	1,065,000	支部援助金	873,000
会費	1,729,000	芸大演奏旅行	100,000
受取利息		コール真声会	26,000
郵便貯金	1,393	芸大定期演奏会	50,000
銀行預金	18,895	印刷費	
総会パーティー費		大光社(名簿)	
会費収入		大光社(会報、その他)	1,621,328
雑収入	24,200	通信費	
事務費補助	80,000	大光社分	978,680
		電話代	16,592
		その他	40,025
		会議費	
		総会	
		役員会、理事会	140,770
		その他	38,200
		交通費	
		役員会、理事会	75,980
		その他	33,680
		人件費	
		事務費	662,000
		名簿管理費	0
		その他	50,000
		備品購入費	0
		雑費	0
		消耗品	2,482
		手数料	80
		慶弔費	2,121
		京都市芸術文化協会年会費	10,000
		入会金二重払い分払い戻し	0
		会費二重引落とし分払い戻し	0
		銀行手数料(南都銀行)	89,197
		今年度支出合計	4,810,135
		次期繰越金	
		郵便貯金及び銀行預金	22,340,702
		現金	0
総 計	27,150,837	総 計	27,150,837

#### 財 産 目 録

種 類	残高	品 目	購 入	価 格
郵便定期貯金	4,000,000			
郵便貯金総合通帳	763,067			
郵便振替口座	64,670	NEC VALUESTAR 一式	2004年3月	
南都銀行定期預金	5,024,154	NEC Lavie 一式	2004年3月	464,646
南都銀行普通預金	7,300,234	エプソン/LP-6100	2004年3月	
三井住友銀行定期預金	5,188,355	NEC VALUESTAR 備品	2004年3月	
三井住友銀行普通預金	222	SONY VAIO 一式	2008年1月	167,000

2010年度「真声会」収支決算報告については、以上のとおりです。 2011年5月26日

会計 山本 千壽 印 会計 菊田 義典 印

以上の報告に相違ないことを認めます。

会計監査 阪田 誠康 印 会計監査 山本 毅 印

#### 2010年度京都市立芸術大学130周年記念寄付特別会計報告 (2010年4月1日～2011年3月31日)

##### 募金内訳

第1回 938,120円(振込手数料23,020円) 第2回 680,000円(振込手数料21,530円)  
 第3回 119,000円(振込手数料 1,080円) 第4回 268,000円(振込手数料 7,880円)  
 募金総合計 2,005,120円(募金件数509件)  
 振込手数料総合計53,150円 実質募金総金額 1,951,970円

上記の如くご報告申し上げます。

多数の募金を頂きまして有難うございました。会員の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。 真声会本部運営委員会

#### 京都市立芸術大学音楽学部同窓会「真声会」2011年度 予算案

内 容	支 出			
	2009年度決算	2010年度予算	2010年度決算	2011年度予算(案)
援助費 計	884,000	1,096,000	1,049,000	1,066,000
内訳 支部援助金	808,000	920,000	873,000	890,000
芸大演奏旅行	0	100,000	100,000	100,000
コール真声会	26,000	26,000	26,000	26,000
芸大定期演奏会	50,000	50,000	50,000	50,000
印刷費 計	1,657,276	1,900,000	1,621,328	1,700,000
内訳 大光社(会報その他)	1,480,088	1,900,000	1,621,328	1,700,000
大光社(名簿)	—	—	—	—
会員証	177,188	—	—	—
通信費 計	693,109	880,000	1,035,297	970,000
内訳 大光社分	627,400	800,000	978,680	900,000
同窓会室電話代	18,379	30,000	16,592	20,000
その他	47,330	50,000	40,025	50,000
会議費 計	266,498	280,000	178,970	300,000
内訳 総会費	156,618	—	—	150,000
役員会、理事会	19,250	180,000	140,770	100,000
その他	90,630	100,000	38,200	50,000
交通費 計	60,350	200,000	109,660	200,000
内訳 役員会、理事会	15,320	150,000	75,980	150,000
その他会議	45,030	50,000	33,680	50,000
人件費 計	286,000	550,000	712,000	700,000
内訳 同窓会室事務費	286,000	550,000	662,000	700,000
その他	0	0	50,000	0
名簿管理費				
芸大事務委託費				
備品購入費	0	0	0	10,000
雑費	12,000	10,000	0	10,000
消耗品	45,184	20,000	2,482	10,000
手数料(振込等)	1,370	1,000	80	1,000
慶弔費	3,790	10,000	2,121	10,000
入会金二重払い分払い戻し	0	0	0	0
会費二重引落とし分払い戻し	50,000	0	0	0
銀行手数料(南都銀行)	90,877	100,000	89,197	100,000
京都市芸術文化協会年会費	10,000	10,000	10,000	10,000
予備費	—	100,000	—	100,000
小 計	4,060,454	5,157,000	4,810,135	5,187,000
次期繰越金	187,068			
不足金		912,000	1,891,647	2,171,000
合 計	4,247,522	4,245,000	2,918,488	3,016,000

内 容	収 入			
	2009年度決算	2010年度予算	2010年度決算	2011年度予算(案)
会費納入 入会金	1,020,000	1,050,000	1,065,000	1,050,000
会費	3,144,000	3,100,000	1,729,000	1,800,000
受取利息 郵便定期貯金満期	3,439	—	—	—
郵便貯金	2,238	5,000	1,393	1,000
銀行預金 (定期・普通)	10,845	10,000	18,895	10,000
総会パーティー費	64,000			100,000
会費収入		(総会の無い年)	(総会の無い年)	
広告料 大光社より(名簿に掲載分)	—	—	—	—
人件費補助(教員互助会等)	—	—	80,000	55,000
雑収入	3,000	—	24,200	—
	4,247,522	4,165,000	2,918,488	3,016,000

### あしあと

新役員発足後、以下の会議を行ってまいりました。

7月20日(水)18:00 北文化会館会議室 第1回拡大運営委員会  
 出席者:大村、大西、松本、佐々木、小川、金森、杉中博、山本、佐藤、木下、青谷、奥田、中村典

議題: 1. 役員分担と仕事内容の確認  
 2. 活動方針と課題について  
 3. その他

8月2日(火)16:00 佐藤会計担当宅 新旧会計担当者業務引継打合せ  
 出席者:大村、佐々木、山本、青谷、佐藤

8月15日(月)13:00 京芸同窓会事務室 新旧会計担当者業務引継打合せ  
 出席者:大村、佐々木、杉中、青谷、佐藤、木下、菊田、中村典

9月6日(火)18:00 ザ・パレスサイドホテル 第2回拡大運営委員会  
 出席者:大村、大西、佐々木、朴、金森、杉中、山本、佐藤、青谷、奥田、中村典

議題: 1 課題の克服のための具体的な取組みについて  
 2 会報53号の内容について  
 3 その他

9月26日(月)11:00 京芸同窓会事務室 新旧会計担当者業務引継打合せ  
 出席者:菊田、青谷、中村典

9月30日(金)12:00 京芸同窓会事務室 会報編集委員会  
 出席者:朴、奥田、中村公、佐渡、中村典、青谷

10月20日(木)18:00 ザ・パレスサイドホテル 第3回拡大運営委員会  
 出席者:大村、大西、佐々木、朴、金森、杉中、佐藤、青谷、三井、土居、奥田、中村典

議題: 1 130周年事業への寄付金の報告  
 2 終身会費及び年会費の納入向上への方策  
 3 会報53号の内容の検討  
 4 その他

# 会費納入キャンペーンの実施について

現在真声会は、会員の皆さまのご協力により、会報の充実、名簿の発行、会員証の発行、同窓会室の運営、各支部への援助金など、活動が活発になってまいりました。それにともない経費は増える一方で、資金不足が課題になってきています。真声会では音楽学部設立60周年を来年に迎えるにあたり、**継続的な活動資金を確保するために会費納入キャンペーンを実施**することになりました。今回、会費未納の方には、別途「納入のお願い」と郵便振替用紙を同封させて頂きました。すでに会費を納めていただいている会員の皆さまには、厚くお礼を申し上げますと共に、お知り合いに会費未納の方がいらっしゃいましたら、お声かけをよろしくお願いいたします。なお、会員各位の会費納入状況につきましては、発送封筒の宛名の下に記されております。なお、会報の印刷・発送作業の日程上、今年度分納入の方で、宛名シールに納入状況が反映されない場合があります。皆さまからの会費をより有効に活用していただけるよう、本部役員一同、一層の努力をしてまいります。**皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。**

4年に一度発行される会員名簿・会員証は、来年度発行される予定です。今年度及び来年度の会費を納入された会員にのみ配布されます。来年度のみ納入の方は対象となりませんので、どうぞご了承ください。

ご不明な点は、同窓会事務室までお問い合わせください。

真声会本部役員一同

## 真声会からのお知らせ

### 真声会のホームページを是非ごらんください！

週3日の同窓会室開室により、ホームページが充実してまいりました。教員・奏者等の募集情報や、後援演奏会情報を随時更新しております。また、過去の会報も見ることができます。どんどんアクセスしてください。

<http://shinseikai-kcua.com/>

### 同窓会事務室が月・水・金の週3日稼働しています！

音楽学部同窓会事務室は現在、月・水・金の週3日稼働しています。

美術学部と同室で、美術学部・音楽学部同窓会事務室として同窓会業務を行っております。皆様、ぜひお気軽に専用電話番号にご連絡ください。本部役員または担当者がお問合せに直接お答えします。

開室日：毎週月曜日・水曜日・金曜日（10:00～15:00）

\*年末年始、お盆、祝日及び学内立ち入り禁止期間(入試等)は休室します。

電話番号 080-6185-4494

開室時間外にお電話を頂いた場合、留守番電話にお名前とご連絡先を録音して頂ければ、開室時間中に同窓会事務室より連絡いたします。

## 《会員だより》

芸術の秋、皆様いかがお過ごしでしょうか。2008年の夏に発行された会報46号から始まった「4年で100人《会員だより》」ですが、今号で計98人となりました。目標の100人まで後少しです。寄稿いただいた皆様、ありがとうございました。

今年、役員改選があり編集委員も変わったのですが、話し合いの結果、今後も「8年で200人」「12年で300人」を目指して引き継いでいく事となりました。これからも引き続き、皆様の拠り所として、このスペースを使っていたいただければと思います。

なお、今後は一度寄稿していただいた方でも、もう一度書いていただける事になりました。どしどし真声会同窓会室 <shinsei@kcua.ac.jp>にお送りください。ただし、演奏会の案内等は公平性の点からご遠慮くださいますようお願い申し上げます。

新編集委員一同

\* \* \* \* \*

### 3期声楽 蔵田 裕行

昨今大阪都構想が喧しい。事の是非はともかくとして、東京一極集中の日本の行政に風穴を開けようという発想には賛成である。行政のみならず音楽文化の面においても東京中心主義は顕著である。オペラに関しては関西の東西に立派なオペラハウスが出来たものの、その姿勢は東京指向であり地元との結びつきは希薄である。地元との強い結びつきがあってこそ真の文化と言えるのだが、甚だ残念な現象と言わざるを得ない。日頃私がひそかに思い描くのは、大阪都構想に倣うわけではないが、関西オペラ連合のような文化行政に大きな役割を果たしうる組織の結成である。

昔京都芸大の発足時、国立移管の話があったが、その際美術学部の先生が話された言葉に深く感銘を受けた。「我々は既に立派な歴史を持っている。今更中央集権の枠組みに入り誇りある独自性を失うことはない。」といった内容であった。日本最古の歴史を持ち、数多の逸材を輩出した美術学校ならではの言葉であり、京都文化の誇りを見る思いだった。音楽学部ではそこまでの意識はない。しかし後発と言えど、その実績において劣るものではないと思っている。半世紀以上にわたって着実に歴史を積み上げ既に多くの卒業生が教員として後輩の指導に当たっている。今後共日本に冠たる音楽学部として更なる飛躍を願うものである。

\* \* \* \* \*

### 近況

### 4期声楽 石堂 芙美

若い頃は音楽一途でした。そして、私を育ててくれたのも音楽でした。後

にオーストラリアに暮らして、初めて上絵付けに出会って約四十年、以来私には上絵付けという新たなやり甲斐ができました。帰国後も同好の仲間が集まって、展示会やボランティアにも参加しています。学生時代の友人をも含めて、絵付けを通して一生のかけがえのない友人たちとも巡りあう事ができて、心の豊かな日々を送れているのは感謝です。今は音楽の一愛好家ですが、私の人生の出発は音楽であり、多くの先生方のご指導を受けられた思い出を大切にしたいと思っています。

今は横浜に住んでいますが、やはり京都は故郷であり、京都駅に着くと、アー、帰った！と懐かしく、胸がいっぱいになります。真声会の名簿で偶然にも同じマンションにピアノ科を出た若い方がいらっしゃるのを発見しました。こんな事は、珍しいと思うのですが・・・いつの日かお目もじが叶う事を期待しています。

\* \* \* \* \*

### 感謝

### 5期作曲 山本 家寛

大学を卒業後すぐ教員となり、中学4年、高校40年勤めました。学校教育は合唱から器楽へという時代で、部活動に吹奏楽を取り入れました。始めたころは楽譜も無く、ほとんど自分で書かなくてはなりませんでした。幸い作曲科を卒業していたので在学中に学んだことが大変役立ちました。また、各楽器の知識も身につけることができていたので大変助かりました。最後の勤務校「愛知県立新城東高等学校」(29年)で指導した吹奏楽部は愛知県芸術文化選奨の表彰を受け、高等学校の全国総合文化祭には愛知県を代表して2回出場することが出来ました。また、この学校の授業には弦楽合奏を取り入れ、レベルの高い音楽の授業を行なうことができました。

定年前には愛知県教育委員会から教科功労者の表彰を受けることができました。

学校教育だけでなく、地域音楽文化振興のため38年前に勤務地の愛知県新城市に市民バンド「新城吹奏楽団」を創り、指揮者として現在も活動しています。この活動が認められ中日新聞社より「中日教育賞」を受賞しました。在学中2年間で4年分を身につけるようにと指導していただいた音楽は、現在も音楽活動を続けていられる基礎として、貴重ですばらしい音楽教育環境の賜と感謝しています。

\* \* \* \* \*

### 10期ヴァイオリン 小林 幸子

短大・専攻科を卒業してもう45年近くたとうとしています。当初は母が勤めていた定時制高校で音楽を教えたりヴァイオリン教室を開いたりしていま

した。53年には夫の転勤で東京に移り住みました。師事していた東儀先生に紹介して頂いて三鷹の竹内茂先生のお宅に月に1度レッスンを受けに行くようになり、今も続いています。時がたち長女が声楽を学んで卒業した国立音大の同期生が企画したジョイントコンサートに娘の歌の伴奏としてヴァイオリンを弾いたのが縁で、それ以来私もソロで参加させてもらっています。もう13年にもなり、今年はフランクのソナタを弾く予定です。楽器は学生時代から弾いていたのを使っていたのですが、60才近くになってオルナティブと弓のピネロンを手に入れました。今ヴァイオリンで気をつけている事は私は音から音へ繋ぐ事が下手なので「一指二弓発車」を実行することです。即ち左手で弾く音を用意してからはじめて弓を動かす事です。簡単そうに思えても速いパッセージになると左手と弓が同時になったりして難しく根気がいられます。他には先生から教えて頂いたカトーハヴァシュ著の『あがり』を克服するを読んでポジション移動の際の左手のスライドと弦の左端を押える事が大切だと分かり、何度も試している事です。3人の子供達が家を離れた今は中学生にヴァイオリンを教えたり3才になる双子の女の孫達と遊んだり、夫と時々ハトバスで小旅行をして楽しんでもあります。

\* \* \* \* \*

**10期声楽 中谷 幸治**

真声会同窓会会員の皆様には、お元気でお過ごしのこととお慶び申し上げます。

今年69歳ですが、誰にでも平等な時の刻みが重みをもって感じられる年齢になりました。また音楽を専門とすることで、自分が音楽からの恩恵を受けていると感謝することがあります。現在いくつかの合唱団や公共の講座、学校などへ指導に出かけています。そのための日常の勉強や準備に時間をとられ、苦しいと感じることもあります、やらなければ自分の基盤はないと心に言い聞かせています。39年間公立中学校に勤務して、思いもよらず死にかけたアクシデントもありましたが、少しずつでも音楽の道を歩み続けられ、様々な出会いがあったことは、幸せだったと思っています。先日、出席した打ち合わせで、ある人が、「最近の芸大生はすぐギャラの事を言う。時代が変わったのでしょうか？」と言っていました。本当ならば、もっと謙虚になってほしいです。安いギャラでも、若い時にしか経験できない貴重な体験と出会いがあります。無駄であったということはありません。自分の音楽を磨き、人生の出会いを大切にすることから、次のステップへと道を拓いてほしいと願っています。

\* \* \* \* \*

**10期声楽 室谷 智子**

音大を卒業して48年、もうすぐ半世紀です。過ぎてみれば長いようで短い年月でした。卒業した頃は音楽教室の全盛期時代で、私は音楽教室の講師と家でのレッスンでグループ、個人と1日に2・30人は教え、子供達と一緒に音楽を楽しみました。その後、家族の介護もあり止めざるを得ませんでした。それも経まして、今は「コール真声会」でコーラスを楽しんでいます。学年は違っても同窓生はいいもので、練習後のお食事、おしゃべりも楽しいひと時です。

家では煎茶を教えています。明末・清初の唐物、江戸後期頃から煎茶が盛んになり我国でも作られた道具類。急須・茶碗・茶托等々、多くの方達の手を経て我家にやって来た小振りな道具を手にし、お茶を入れながら愛でた当時の人々を想像するのも楽しいものです。また、道具は何ともいえず可愛らしく心が和みます。

もう一つの楽しみは能面打ちです。能面の展覧会で京都にも教室があると知り門を叩きました。初作は延命冠者で厚さ15cm・縦25cm・横15cmもある檜材から形を作っていくのですが、月一回の面打ちに時間を忘れ没頭しています。昨年7月から始めてもうすぐ1作目が出来上がります。今回は最後のお化粧です。眉毛、髭で面の出来映えが左右されるのですから、どんな面相になりますやら……。好きなことで世界を広げ楽しんでおります！！

\* \* \* \* \*

**今、音楽が楽しくて！**

**18期声楽 柴田 千恵子**

私は今、今までの人生で一番音楽的に充実した日々を送っていると思います。

卒業してから声楽の勉強はとぎれとぎれで、演奏活動も殆ど出来ていなかったのですが、子育てや親の世話がひと区切りついたらとても歌いたくなりました。それで勉強を再開したら楽しいこと！この7年間は京芸での学生時代よりも真剣に歌に取り組んでいたかもしれません。遅い出発ながら、歳を重ね、いろんな人生を経験し、異国の風土や歴史にも触れた事が、音楽表現において何かプラスになればと思っています。

昨年秋には大阪支部のプリリアントコンサートで石若雅弥さん(作曲50期)の作品を共演させていただきました。そして今年には私の地元交野市での7月3日の「東日本大震災チャリティーコンサート」をお引き受けする事に

なり、大阪支部のご協力で60万円以上の義援金を募る大コンサートを開催する事ができました。真声会の輪の有難さと、2ヶ月あまりで素晴らしいコンサートができる真声会メンバーの実力を実感し、とても嬉しかったです。又、先輩の中林節子さんとこの12月10日にジョイントコンサートをする事になっており、目下準備に追われています。明るい女性パワー、元気なおばさんパワーで頑張りたいと思っています。

\* \* \* \* \*

**19期ピアノ 伊原 道代**

私が入学した頃は京芸になって二年目で、編入された学年も含め三回生までの大学でした。園田高弘先生の出された課題曲の数が多く、協奏曲も含めそれらを発表するオーディションや試験をこなす日々でした。京都の私立華頂女子高校の音楽科から入学しましたが、私のレベルではそれらをクリアするには必死の覚悟と練習が必要でした。プレッシャーに押しつぶされながらも30分もある曲を暗譜し演奏できた時には、本当に達成感を味わう事ができました。課題をこなす事ばかりでしたので、鈴木良一先生から頂いた曲は二曲だけでした。先生には暖かく育てていただき本当に感謝しています。

卒業後は地元福井に戻り仁愛女子短期大学と仁愛女子高校音楽科の非常勤講師の職を得ました。短大では山根美代子(後にシモン・ゴールドベルク氏と結婚)、大宮里奈(真琴氏の奥様)、三上カーリンの各先生が毎月教えに来られ、私はアシスタントとして接し音楽の真髄にふれる良い勉強をさせて頂きました。高校では田隅靖子先生が10年余り特別講師として来られ、プロの教師の厳しさを知ると同時に「研究会」を聴きに幾度か上京させて頂きました。

演奏では、卒業後にリサイタルと協奏曲を、同じ職場の友人とデュオやジョイントを、同級生の堀内ハルキさん達とトリオを、金森重裕さんのお世話で五重奏をさせて頂きました。主人がファゴット専攻で室内楽大好き人間の影響もあり、フランク、ブラームスのソナタを知り今は室内楽に魅力を感じています。

最後になりましたが仁愛短大は平成22年に音楽学科の募集停止を発表しました。今は短大の幼児教育学科の勤務だけになりました。これまでのたくさんの人との出会いに感謝しつつ、これからも私なりに真摯に音楽芸術と向き合っていきたいと思っています。

\* \* \* \* \*

**23期ピアノ 細川 裕美子**

卒業にあたり先生が「弾き続けなさいね」と、おっしゃいました。苦しい時、茫然としている時、鬱々としている時、気持ちが萎えた時にも、経済的にも支えてくれると嬉しいのですが、とにかくピアノが私を支えてくれたように思います。一つの事を続けることは、偏って世界が狭まるような気がしていました。そして、それは避けたいと心がけてきました。しかし、実際は一点から興味が広がり、深まり、豊かになれるのかも知れないと今、思います。また、同じ道を歩んできた仲間との交流は心穏やかで、安心感があります。そんな素敵な世界を与えられたことに、両親はもちろんですが、お教えくださいました先生方に感謝しながら、これからも大切にしていきたいと思います。来年ピアノを始めて50年です。念願だった防音室もついに今夏手に入れ、まわりの方々のご理解もあり、気持ちよく弾けますので、記念にコンサートができたらいいなあと思います。

\* \* \* \* \*

**28期ピアノ 山田(大富) 栄里子**

私の京芸時代は校舎の移転期にあたり、一回生を旧岡崎校舎で、二回生から現舎掛校舎で過ごしました。特に堀川音高も含めて4年間過ごした岡崎校舎は思い出が深く、湿った空気や床のきしむ音、色あせた壁のシミなど老朽化した建物や雑然と点在するプレハブ舎の独特な環境は今でも私の原点として五感に刻まれています。

卒業して、早四半世紀が過ぎてしまいました。学ぶ側から立場変わって今は大阪の府立高校音楽科と京都の短大の非常勤として教えています。しかし、教えることは学ぶこと、生徒たちから新鮮なオーラをもらえることに喜びを感じつつ、自分の未熟な部分が生徒を通して鏡のように映し出されて考えることもいろいろあります。勤務先の音楽高校で、毎年京芸志望者がたくさんいることは誇らしく思い、これからもそうであり続けてほしいと願っています。またそこから、京芸へ進みさらに大きく羽ばたいていく若い人たちの演奏を真声会大阪支部のコンサートなどで聴かせていただけることも楽しみです。

自分のピアノを弾いている時は、日常から切り離された非日常の時空間、まだ子育て中で演奏活動はマイペースですが、気持ちだけは衰えないようにその時間を大切にしていきたいと思っています。

\* \* \* \* \*

29期ピアノ 大岡 真紀子

振り返れば、ピアノそっちのけでクラブ活動に夢中だった高校時代、「将来何をやりたいか」との問いに、「心の内なるものを表現する事」とは答えられたものの、それが「ピアノというツールで」とは思えぬまま大学生になってしまったので、何とも心の置きどころがみつからず、居心地が悪くなつては、そそくさとバス停めがけて走って帰る毎日。バスに乗り込んで、「はあ、本日のオットメ終了、、、」ってな気分、実にけしからん生徒でした。

その10数年後、夫の転勤でアメリカに引っ越した際、丸2ヶ月、家にピアノが無かったのですが、意外と、それでも平気で暮らせる自分に妙に感心したりもして、“もしかして、これってピアノに縛られない、新しい人生の始まり?”とも思ったものでした。

ところが神様に「そう言わずに、もうちょっとくらいはやってみろよ」と言われたかの如き偶然の出会いが、これまた次なる出会いを呼び、気がつけば、長い間ピアノに対して仮死状態だった私の細胞はすっかり全開、“ピアノって面白い!”そう思いました。そして周囲の方々のおかげで弾かせて頂く事になったアメリカでの初リサイタルの日、一度はやめてもいいかと思った私が、こうしてまたホールで弾かせて頂ける幸せを噛み締めては、思わず、誰もいない客席に向かって深々とお辞儀をしている自分が何とも可笑しく、そして「人生、そんなに捨てたもんじゃありませんよ」と、ちょっぴりご褒美を頂いたかの様な気分でした。あの日が今の私の源です。

かくして大変、大変遅ればせながら、ピアノが弾ける環境と、共に音楽を作る良き仲間にも恵まれた事に、ひたすら感謝の今日この頃です。

\* \* \* \* \*

34期ピアノ 武田 佳美

京芸を卒業してはや23年。夫の転勤で金沢、名古屋へ。そして2001年に神戸に戻って参りました。金沢では当時アンサンブル金沢メンバーの高田智恵さん(34期Vn)のおかげで音楽と離れることなく過ごしました。次の名古屋では、息子たちの子育てが忙しいのに加え、活動に限界を感じていましたが、斎木美緒さん(41期Vn)との出会いもあり、何とか弾き続けていました。神戸に戻ってみると、まるで浦島太郎状態。(夫の実家は震災で全壊)でもピアノを前にじっとしては何も始まりません。学生の頃からオケや室内楽が大好きでしたので、「やっぱりアンサンブルがしたい!」と思い、始めたのが今年で10回目になるミュージアムコンサートです。自宅近くにある素敵な世良美術館にスタインウェイが置いてあることを知り、さっそく見取香奈さん(34期Ob)とコンサートを開催。これまで共演してくださったのは多田周子さん(34期声)尾崎未佳さん(35期Vn)高橋宏明さん(33期Vc)長山慶子さん(25期Fl)宮本克江さん(33期Ob)と素晴らしい方々。また幼い頃から音楽を身近に願う同窓生達とアンサンブル・ファミリーを結成「親子で楽しいコンサート」を開催。昨年は桑原謡子さん(34期Vn)とプリリアント・コンサートに参加させて頂くなど、お名前を載せきれない程(すみません!!)真声会各支部の方々にお世話になりました。心からお礼を申し上げます。これからもどうぞよろしくお願い致します。

\* \* \* \* \*

42期ピアノ 竿下 和美

～今年ピアノに出会ってから30年。お稽古事として習い始めたピアノがいつしか「ピアニストになりたい」と夢になり、現在、夢を叶えられた事を幸せに感じます。結婚、出産、子育てという人生の節目で、何度か休養をしたりはありましたが、音楽によって沢山の方々との出会いが私の音楽生活の栄養になっております。今は、専門学校と小学校にて講師をしながら、活動しております。近年「クラシック音楽のバリアフリー化」を活動のテーマとし、クラシック音楽の更なる普及の微力になれば…と考えて活動しております。そして音楽家を目指す子供達が将来、もっと活躍できるステージを増やしてあげる事も私達の使命と感じ、活動しております。

\* \* \* \* \*

42期ピアノ 山口(南) 暁子

住まう町・生駒で開かれる「いこま国際音楽祭」。開催2回目のまだ若い音楽祭ですが、私は在独の音楽監督を助けて、運営の裏方を務めております。準備は正直、容易ではないのですが、不思議なほど人の繋がり、人の結びつきに助けられ、今回もまた音楽祭準備を通じて十何年ぶりに京芸の同期に再会し、助けられました。この経験は(感動は、と置き替えたいほどですが)私のたからもの、エネルギーそのものになっています。

“音楽”をもって社会に関わるときの、「人」がどんどん繋がってゆくよるこび。過ぎた時間に勝れること。狙わなくても自然とそうやってゆくミラクル・そしてそれらがとてつもなく豊かで幸せであったこと。

あまりに酷い自然災害のあと、音楽のちからを頼めないような心細さを覚えた日もありましたが、いま自分は「音楽って人と人との幸福なつながりだ」と、やはり声を大にしたいのです。技術に関係なく絶対的なものであるとこ

ろが「演奏の巧みさと、楽譜の余白の関係」に、どこか似ているでしょうか。最後になりましたが、音楽をやっていて良かったという実感とともに、音楽祭を共に支えて下さる京芸ゆかりの皆さまへ心から篤く感謝を申し上げます。

\* \* \* \* \* 通訳をしながら学ぶ ピアノ教育課程学生の留学記

51期ピアノ 高野 良輔

ウィーンで勉強を開始して五年になる。本当は留学期間を二年間と決めて渡欧したのだが、まさかプラス三年のオマケがつくとはいわなかった、というのも、こちらで勉強を続ける内にここでしか学べない事柄というものが次から次へと出現し、それを吸収しながら「あと少し」を繰り返していたら何時の間にか五年経っていたわけだ。その「ここでしか学べない」沢山の事柄の内僕が特に大切に思っているものがある。それは「通訳をしながら学ぶ」だ。

自分の師匠のレッスン通訳を何度も行ったことがある。ドイツ語にまだ慣れていない日本人留学生を手助けするというごくありふれたものだ。まず師匠の指示を日本語に直して伝える。そして留学生から日本語で伝えられたものを今度はドイツ語に直して師匠に伝える。この「師匠の指示を伝える」際、彼の教え方というものを身を以て知ることができた。

昔から「まず型に入り、そして型から出でよ」と言われるように、ここで僕は通訳をしながら「師匠の指示」という型を、ただ傍観するだけでなく実際に自分の口から言うことで勉強させてもらった。当然日本語とドイツ語などといった異なる言語の間でのみ可能なわけで、そういった意味ではこれはこちらでしか勉強できないものの一つとして考えても差し障りないだろう。教育課程在籍という手前これは願ってもない重要な勉強の場だった。

このことを師匠本人に話したところ、ニヤリと笑みを浮かべ「授業料はビールでよろしく」と言われたことを最後に付け加えておく。

ウィーンにて

\* \* \* \* \*

出会いと世界の広がり

53期ピアノ 塩田(樺原) 藍

学生時代は6年間、奈良の自宅から2時間半かけて通学し、肉体的にも精神的にもかなり鍛えられました。厳しくも楽しい楽しい学校生活でした。

2年前に大学院を修了し、現在は未熟者ながら親和女子大学の講師としてピアノ教育に携わっています。本当に毎日が勉強の連続です。

ついいろいろと手を出しすぎて頭と体が悲鳴をあげることもあります。指導・演奏活動・主婦業と、京芸で学んだ「自ら考え行動する」精神を大切に歩んでいきたいと思っています。今のもっばらの目標は、料理のつまみ喰いでたるんだお腹をなんとかすることですが(笑)

最近趣味の旅行が高じて、世界遺産検定にチャレンジしました。それ以来、景色や建築の見方が少し変わった気がします。また、コンクールの審査や通訳のボランティアを通して新たな出会いもありました。これからも様々な出会いに感謝しながら音楽と向き合いたいと思います。いつか皆さんと一緒に演奏やお仕事をする機会があれば大変嬉しいです。」

\* \* \* \* \*

大学院22期音楽 浦田 恵子

もともと他の大学で4年間を過ごし、京芸の大学院を志した頃の私に、今の私を想像できたでしょうか。

私にとって夢の場所であったこの大学院に入学した私は、2年の大学院生活を時間の限りの限り、多くの事に挑戦したいといつも心にとめていました。自分のしたいことが出来るこの幸せな環境にいられたことは、2時間半近い通学も苦痛に感じさせることのない大きなエネルギーとなっていたと改めて感じます。また、素晴らしい同期やピアニストに恵まれ、他から来た自分を受け入れてもらえるのかという不安もあつという間に消え去り、最高の居場所となりました。そしてお世話になった先生方はいつも親身に接して下さい、私自身を、歌でも、人間としても、大いに引き出してくださいました。その出会いは、今も私の活力となっていることは間違いありません。

そして、今年6月、初めてのソロリサイタルをさせていただきました。小学校で音楽を教えている生活の中でこのような機会を頂けるとは思ってもいりませんでした。たくさんの方が応援に駆けつけて下さり、夢のようなひとときとなりました。

今日までの様々な瞬間に乗り越えてこられたのは、どれだけ周りの方々から恵まれてきたからか……。歌うことが自身の活力に、そしてその歌を通して、お世話になった方々への感謝、そしてこれから出会う方々の心へ伝わるものとなることを願い、これからも日々精進し、歌い続けていきたいと思ひます。

今号の会員だよりには17名の会員の方より寄稿いただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

# 真声会 各支部活動報告

## 滋賀支部

滋賀支部では11月3日に第23回演奏会「湖のしらべ」をしがぎんホールで開催します。(会報発行時には終わってま

すね)

---プログラム---

- ・光永三姉妹(フルート:千藤里子44期、ピアノ:服部悦子33期、光永秀子38期)の皆さんによるラヴェル「マメール・ロア」・・・日向宣広君39期編曲
  - ・ソプラノ:村辺恵奈さん53期、クラリネット:伊藤咲代子さん53期、ピアノ:市川未来さんによるシューベルト「岩上の牧人」
  - ・フルート:村上奈美さん43期、オーボエ:左古典子さん38期、ピアノ:光永秀子さんによるドリングのトリオ
  - ・メゾソプラノ:福島あかねさん43期、ピアノ:武田優美さんでラヴェル「五つのギリシャ民謡」、山田一雄「コクトオ三題」、サンサーンス「サムソンとデリラよりあなたの声に心は開く」
- 最後に恒例の全員合奏「江～姫たちの戦国～より」山田幸子さん37期編曲です。

ところで会員の活躍の一端を御紹介します。クラリネットの福川(旧姓八段)悠子さん49期が日本フィルに入団されたことを数年前に喜んでいましたが、今年白子正樹君51期が札幌交響楽団に、福前裕子さん50期が関西フィルハーモニーに入団されました。皆さん石山高校音楽科では山川すみ男先生17期の指導を受けられた方々です。

先生の御指導と生徒の皆さんの努力に敬意を表します。

支部長 杉中 博(19期Tp)

## 関東支部

東日本大震災から半年、遅々として復興がはかどらず、まだまだ傷が癒えないというのに、台風15号が日本縦断。

東京でも傘が凶器になるほどの暴風雨に見舞われました。そんな嵐を見送った直後、9月23日(金)に新宿文化センター・小ホールにて第16回定期演奏会を開催。「暑さ寒さも彼岸まで」を実感する涼やかな天候の中、約80名のお客様がご来場、9組13名・・・熊谷房子(1期Sp)、田中由実子(27期Vn)、島津与外次(5期Tn)伴奏 曾我尚江(27期Pf)、成島いずみ(30期Sp)伴奏 丸山慶子(30期Pf)、辻有里子(48期Pf)、奥田章子(32期Pf)、堤幸子(31期Sp)伴奏 細川裕美子(23期Pf)、高橋知子(32期Pf)、文野真理(30期Sp)・山崎ひとみ(31期MSp)・・・が出演しました。

ヴァイオリンの田中さんは8年ぶりのご出演で、ラ・フォルアの特にカデンツァは力演!神戸にお引越しをされたばかりの成島さんは、今回も関東支部会員として歌ってくださいました。ピアノの辻さんは、1歳になったお嬢さんのあおはちゃん(楽屋で大人気!)を抱っこして参加しバルトークの民謡と舞曲を演奏、久しぶりの堤さんは学生時代の思い出の作品「魔弾の射手」より「君を知らずば」を華やかに歌ってくださいました。もちろん、毎年おなじみの顔ぶれも熱演で、楽しいラインナップとなりました。

地域で、演奏するだけでなくコンサートの企画もしているという脇野さん(28期Vn)と小早川さん(39期Vn)が見事なコンビでステージマネージャーを務めてくださり、爽やかな高橋律子さんのアナウンスに誘われて、和やかにスムーズにコンサートが進行。公演後には、イタリアンレストラン「イル・ピッチョーネ」で、創設当時お世話になった岡田節さん(15期Sp)や新入会の田中伊知子さん(31期Cl)も交えてミニ同窓会を開催しました。

12月には本部の中村典子さん、奥田聖子さん方のお声掛けで、「冬の祈りの日に」と題して新宿アートコンプレックスホールにて復興支援チャリティーコンサートを開催予定です。他の支部、あるいは本部の皆さんと連携したコンサートは初めて・・・心躍る思いです。

副支部長 曾我尚江(27期Pf)

## 京都支部

去る8月28日(日)午後2時から府民ホールアルティで、京都支部会員による第28回プロムナードコンサートを開催しました。今夏は猛暑続きの毎日で、しかも電力不足で全国的に節電に努力するようにと、連日テレビのニュースで流れる厳しい暑さの中で、せめて音楽で心が癒される事を願い、出演者、関係者一同コンサート開催に向けて取り組みました。チェロ独奏、ソプラノ独唱、ピアノ独奏、弦楽アンサンブル等の多彩なプログラムで、当日は残暑の厳しい日にも拘わらず、たくさんの方々にご来聴頂き、お陰様で成功裡にコンサートを終える事ができました。

出演者は、1. Vc:細辻 秀美(40期)/P:木下 亜子(40期) 2. S:佐藤 紀子(8期)/P:丸尾 美紀(賛助) 3. P:福井 真裕子(34期) 4. S:藤 美千代(43期)/P:小上 多衣子(賛助) 5. Vn:江口 純子

(54期) /Vn:渡辺 明日香(54期)/Va:岡本 名那子(52期)/Va:岡田 真理子(53期)/Vc:江口 陽子/(51期)/Vc:小棚木 優(56期)の皆さんでした。

尚、来年は9月16日(日)に府民ホールアルティで第29回プロムナードコンサートを予定しています。今年度から活動年度を4月からに変更しましたが、2011年度も24名の新入会員を迎えました。7月に支部報を発行しましたが、またプロムナードコンサート、支部報を通して会員同士の横の繋がりを強くして、一層充実した支部活動を進めて参りたいと思います。

支部長 山田晏子(10期声)

## 中部支部

大災害の後も異常気象が続き、会員の皆様方におかれましては音楽活動に何らかの影響が及ばれたのではとお見舞い申し上げます。

先日6月19日(日)14時より、名古屋市中区の長円寺会館にて「第2回中部支部総会・懇親会」を開催致しました。お陰様で梅雨の蒸し暑い天候にもかかわらず、2期～53期の16名の方々にご多忙の中、ご出席いただきましたことをご報告致します。昨年の支部設立総会と違って緊張感も解け、和やかな雰囲気でも会員同士の親睦を図ることができました。自己紹介では懐かしいキャンパスの様子、恩師とのエピソード等、卒業期によっては通じ合えない内容もありましたが、それだけ歴史を積み上げてきた証しでもあり、幅広い卒業生が集まればこそ、と楽しく聞かせて頂きました。2010年度活動報告、会計報告などもご理解いただき、承認を得ることができました。ホッと一息「ミニコンサート」では森本千絵さん(30期Vn)にソロ演奏をしていただき、卓越したテクニックで会に花を添えていただきました。また7月31日に開かれました支部後援の演奏会、平野佳恵さん(51期声)のソプラノリサイタルは大盛会をおさめられ、徐々に会員の活躍の様子をお伝えすることができるようになりました。早く支部主催の演奏会を立ち上げたいと逸る気持ちは否めませんが、足場を見据えながら段階を経て話し合っていきたいと思っています。さしあたっては「総会・懇親会」「支部会報」の充実を柱に、会員の積極的な交流、情報発信の場としての活性化を大切に考えてまいります。

支部長 中島百合子(19期作)

## 奈良支部

### ◎音出し会について

去る8月3日(水)、奈良支部メンバーによる第二回音出し会が行われました。音出し会とは、「弾きたい楽譜を持ち寄って、気軽に弾き合う会」です。人が集まると同時に楽譜も集まるのがこの会の特徴です。そうして集まる様々な楽譜を、会場に着いたばかりの誰かが興味ぶかく覗き込む頃にはもう、また別の誰かが先輩を誘ってピアノの前で連弾が始まっている・・・。そんな集いです。

ふとした話題のついでに「その楽譜あったんじゃないかな?」と、棚を探し出す人も居て、出てきた楽譜に歓声を上げる人が居る・・・。気軽に、しかし刺激的でもあり、専攻や学年を超えて非常に楽しいものです。

初めて目にする邦人作曲家のピアノデュオ曲に皆で聴き入ったり、あまりに難解なピアノ連弾に盛り上がったり、一時帰国中の留学生在が楽器と留学談を携えてお顔を見せてくれたり、そして談笑するうちにいつの間にかまた、ダブルコンチェルトを別の楽器に持ち替えて弾いてみようという試みが為されたり。

ふと我にかえった瞬間、これらの時間がなんと豊かなことであろうかと感じ、感慨深いものがありました。音楽とともに過ごす時間、それを共有する仲間。同窓の私たちは大きな宝物を持っています。ドレスアップした音楽も大切ですし、寛いで笑いあって、ただただ音楽の恵みを浴びるこんなひとときもまた素晴らしいですね。

### ◎第14回定期演奏会について

来たる2012年2月24日(金)18:30～、秋篠音楽堂にて第14回定期演奏会を開催いたします。プログラムは次のとおりです。すべて2台のピアノによる演奏です。

- ♪モーツァルト作曲 2台のピアノの為のソナタ 二長調 Kv448  
山口暁子(42期) 松坂香織(賛助出演)
- ♪ラヴェル作曲 スペイン狂詩曲  
塩田 藍(53期) 櫛原 節
- ♪タイユフェール 間奏曲 野外遊戯 トッカータ シチリアーノ  
江口恭子(37期) 櫛 紀子(賛助出演)  
谷風佳孝(FI 賛助出演)
- ♪ラフマニノフ 組曲第2番 作品17

玉井幸子 (28期) 岩谷寿美子 (30期)

目下、出演者はじめスタッフ一同、演奏会の成功に向けて心一つにして頑張っているところです。どうか多数の皆様のご来場をお待ちしております。  
支部長 高橋せつ子 (16期打)

大阪支部

http://senri-music.com/shinseikai-osaka/

“星の降るまち”としてつとに有名な大阪府交野市。自然の森の中にある「星の里いわふねホール」で、7月3日(日)のお昼下がり、東日本大震災チャリティーコンサート～七夕に祈りを込めて～が開かれました。

交野市にお住まいの柴田千恵子さん(18期声)にお声がかかり、交野市音楽協会と真声会大阪支部の共催、交野市教育委員会と交野市体育文化協会が後援という形が整えられました。「あらゆる人に音楽を楽しんでいただきたい、そのことが復興支援へと繋がる」という共通の思いを持って、準備は、手づくりの「第九」を毎年開催するという音楽協会の方々が、そして中身は私達に任せ、柴田さんが中心になって呼びかけて、急遽作りました。

ほぼ満席の600人近い人たちが待ちわびる場内の明かりがおちて、第1部～祈り～が始まり、ハンドベルが祈りの音楽を奏でました。場内がひとつになった瞬間です。全照になって、カッチーニのアヴェマリアなど歌のステージから、コントラバス、クラリネット、ピアノの独奏・アンサンブルと続きました。

第2部～明日へ～は、まず地元「交野元気ッズ☆来夢音(らむね)」の子ど

もたち22人が元気いっぱい星の歌を2曲歌いました。続いて、魔笛からのアリアと「カルメン」ハイライトの“オペラ”のステージです。カルメン、ホセ、エスカミーリョがナレーションの進行で、歌とお芝居を披露して圧巻、喝采を受けました。

すべてが終って、来場者、地元関係者から「さすが京芸!!」と言われ、十分に役割を果たすことができました。

入場料1,000円と会場カンパで計66万余円が、後日、義援金として送られました。

出演は、hand bell=小島明子(8期pf)、杉林則子(11期pf) sop&nar=柴田千恵子(18期) sop=清水由希子(46期) mez sop=森池日佐子(18期) ten=清水徹太郎(47期) bar=落合庸平(55期)、高橋純(52期) cl=西川香代(45期) cb=平田昭浩(42期) pf=五嶋利恵(41期)、樋上眞生(51期)の皆さんでした。 副支部長 広報担当 金森重裕(6期Cl)



# 京芸だより

## ～定期演奏会をぜひ聴きにいらしてください～

京都市立芸術大学音楽学部の139回定期演奏会の機会を利用して、**桐朋学園大学音楽学部との交流演奏会**が、平成23年11月27日(日)14時から、京都コンサートホールで開催されます。平成18年に桐朋学園大学音楽学部主催により第1回目を開催し、好評を博した演奏会の再来となります。今回は、京都市立芸術大学音楽学部が主催し、京都において、各大学の単独演奏と合同演奏をお聴きいただけます。

真声会宛に、合同オーケストラを指揮される秋山和慶先生と、コンサートミストレスの水野万裕里さん、日暮霞さんからのメッセージが届きましたので、ご紹介致します。

\* \* \* \* \*

東京、初台のオペラシティーで京芸と桐朋の合同演奏会が行われたのは、今から6年前になるでしょうか。晴れやかに2つの音大オーケストラが演奏を繰り広げました。どちらのオーケストラもレベルが高く、その2つが合わさっての演奏は、まばゆいばかりでした。アンコールには合同で威風堂々を演奏したのですが、舞台に入りきれない奏者たちが、舞台の後ろにある客席からも演奏するなど、お祭り騒ぎで迫力満点でした。その演奏会は、いまでも両学の学生にとっての語りぐさです。

このような演奏会を、京都を舞台にもう一度再現出来ることを、心から楽しみにしています。素敵な演奏会になると思います。卒業生の皆様も、ぜひ足をお運びください。 秋山 和慶

今回の定期演奏会の目玉は、何と言っても桐朋学園のみなさんとの交流演奏です。6年前に東京で成された2校のコラボレーションを、今年は京都で再共演するという事で、私たち一同もどうい演奏に仕上がるのか楽しみにしています。普段、京都の山奥の隔離された場所で大学生活をおくっている私たちにとって、このコラボレーションは良い刺激になり、とても貴重な経験となるでしょう。同じように音楽を勉強する学生同士、高めあえる経験になることを願っています。

4回生ヴァイオリン 水野万裕里

今回の第139回定期演奏会は、私4年生にとって大学最後の定期演奏会になります。なかなか他大学と交流をすることができないまま大学生活を送ったので、最後の定期演奏会が桐朋学園大学音楽学部との交流演奏会であることを、大変嬉しく思います。またとないこのような演奏会に出演する機会を得て、かつコンサートミストレスを務めさせていただけることをとても光栄に思います。今回の演奏会を通して、桐朋学園大学の方達と交流を深めると共に、6年前の公演に劣らないものを作りたいと思います。 4回生ヴァイオリン 日暮 霞

### 真声会会員の皆様は無料でご入場いただけます。

会場受付にて卒業・修了期、専攻、お名前をお知らせください。また、会報内に印刷されている真声会会員券をぜひご利用ください。この会員券は、会員様ご家族、友人知人のご利用が可能です。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

### 京都市立芸術大学音楽学部 第139回定期演奏会

日時：平成23年11月27日(日)14時開演(13時開場)

会場：京都コンサートホール(大ホール)  
京都市左京区下鴨半木長1-26  
(地下鉄烏丸線「北山駅」下車1番出口徒歩5分)

曲目：京都市立芸術大学 シュトラウス：祝典前奏曲  
桐朋学園大学 メンデルスゾーン：交響曲 第4番 イ長調「イタリア」  
合同演奏 チャイコフスキー：エフゲニー・オネーギン「ポロネーズ」  
ムソルグスキー/ラヴェル編曲：組曲「展覧会の絵」

出演：指揮 秋山 和慶(東京交響楽団桂冠指揮者)  
梅田 俊明(桐朋学園大学講師)

入場料：1200円(全席自由)・・・真声会会員は無料 上記参照

チケット販売：京都コンサートホール 075-711-3090

お問合せ先：京都市立芸術大学教務学生支援室(事業推進担当)

075-334-2204

切り取り線

## 京都市立芸術大学音楽学部 第139回定期演奏会

音楽学部同窓会真声会 会員券

2011年11月27日(日) 14時開演(13時開場)  
京都コンサートホール大ホール

切り取り線

### 2011年度演奏旅行のお礼とご報告

この度は2011年度京都市立芸術大学音楽学部学生による演奏旅行にご援助くださり、誠にありがとうございました。今年は9月12日～15日に3泊4日のスケジュールで徳島県の各地を回り、小中6校の方々にオーケストラ演奏を聴いて頂きました。どの学校でも皆さんとても喜んでくださり、本当に貴重な体験ができたと思っています。一昨年の徳島での演奏旅行が新型インフルエンザで中止になってしまったのを残念に思い、今年は徳島県での公演を決定しました。しかし、私達委員の中に徳島出身がおらずコネクションがなかった為、例年よりも公演先の学校がなかなか決まらず、委員一同大変苦労しました。今回決定した学校はほとんどが全校生徒100人にも満たない少人数の学校でした。生のオーケストラを聴く機会がない方が多く、とても私達を歓迎していただきました。このような地域だからこそ、音楽を広げていくためにも意味のある演奏旅行だったと感じます。演奏中、真剣な眼差しで聴

いていただき、楽しそうな笑い声は今でも強く印象に残っています。あの時の皆さんの笑顔は忘れられません。初めて目にした楽器に興味を持ち、初めて聴く生のオーケストラの迫りに驚かされている様子も伝わってきました。後日、学校からお礼と感想の手紙もいただき、オーケストラに編曲



した校歌のCDは、集会で使用していると連絡をもらいました。手紙からもひとりひとりの思いが伝わり、とても嬉しく読んでおります。委員長の仕事は予想以上に大変で私には難しいものでしたが、頼れる委員の仲間達はもちろん、多くの方々のおかげで無事に終えることができました。様々なアクシデントもありましたが、この4日間の経験は私たちにかけがえの無いものを与えてくれました。この経験と子供たちとの思い出を糧に、私達もまた音楽と新たな気持ちで向き合い、音楽がますます人々に受け入れてもらえるよう努めていきます。そして、私達が代々の先輩から受け継いだように、今年の実績を来年の実行委員に引き継ぎ、来年はさらに良い演奏旅行になることを願います。いたらぬ私達を支えてくださって、ご援助くださり、本当にありがとうございました。どうぞこれからも私達の活動にご理解とご支援の程よろしく願いいたします。

演奏旅行実行委員長

音学部弦楽専攻 ヴァイオリン 3回生 古川 葵



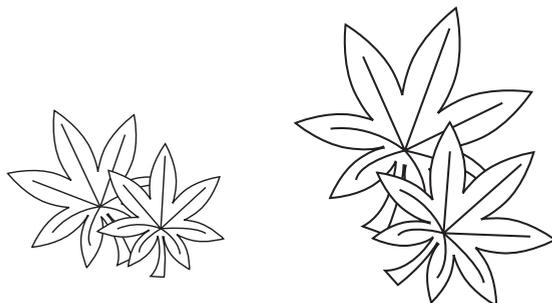
### 京芸教員 人事異動

豊嶋 泰嗣	准教授	平22. 4. 1着任	ヴァイオリン
上野 洋子	専任講師	平22. 10. 1着任	声楽
松本日之春	名誉教授	平23. 3. 31教授退任	作曲
三井ツヤ子	名誉教授	平23. 3. 31教授退任	声楽
神谷 郁代		平23. 3. 31教授退任	ピアノ

菅 英三子		平23. 3. 31准教授退任	声楽
岡田加津子	准教授	平23. 4. 1着任	作曲
砂原 悟	准教授	平23. 4. 1着任	ピアノ
小濱 妙美	准教授	平23. 4. 1着任	声楽
中村 典子	准教授	平23. 10. 1昇任	作曲

真声会会員の  
コンクール等受賞者

- 第4回神戸芸術センター記念ピアノコンクール (平成23年3月12日 神戸芸術センター芸術劇場) 銀賞  
大学院修士2回生 桑 早穂子
- 平成23年度奏楽堂日本歌曲コンクール (平成23年5月29日 台東区旧東京音楽学校奏楽堂) 作曲部門一般の部 第2位入賞  
大学院博士3回生 増田真結
- ノーヴィ国際音楽コンクール (平成23年8月20日 京都コンサートホールアンサンブルムラタ) 声楽部門第2位  
大学院修士1回生 下林一也
- 第15回松方ホール音楽賞 (平成23年8月11日 松方ホール) 音楽賞 (金管楽器部門)  
学部4回生 滝田姫子 (トロンボーン)
- 第15回松方ホール音楽賞 (平成23年8月11日 松方ホール) 音楽賞 (木管楽器部門)  
2008年度卒業 中村淳二 (フルート)
- 第15回松方ホール音楽賞 (平成23年8月11日 松方ホール) 音楽賞 (声楽部門)  
2007年度大学院修了 古瀬真紀
- 日本管打楽コンクール (平成23年8月22日～27日 東京音楽大学) 2位  
2010年9月就学期間在学中中途退学 中田麦 (打楽器)
- 日本管打楽コンクール (平成23年8月22日～27日 東京音楽大学) 入選  
学部3回生 藤田あや (打楽器)
- 平成23年度大阪文化賞奨励賞 (分野: 洋舞・洋楽)  
2008年大学院修了 浦田恵子 (声楽)
- 第5回横浜国際音楽コンクール (平成23年8月23日 かなっくホール) 弦楽器部門 大学の部 第3位  
学部2回生 西本慶子 (チェロ)
- 第2回フォーレ国際ピアノコンクール (平成23年10月7日～8日 南仏パミエ) 第1位  
大学院博士1回生 金田仁美



# 真声会後援の演奏会

## ♪ベートーヴェン35のソナタ

～多川響子ピアノソナタ完全全曲リサイタルvol. 8

日時：2011年9月4日(日) 15:00

会場：京都コンサートホール アンサンブルムラタ

出演：多川響子(44期Pf)

曲目：ベートーヴェン

ピアノソナタ第19番op.49-1 ピアノソナタ第11番op.22

ピアノソナタ第15番op.28 ピアノソナタ第31番op.110

## ♪ピアノデュオコンサートシリーズVol. 4

～20世紀の薫り・エスプリとロマン～

日時：2011年9月10日(土) 15:00

会場：松尾ホール

出演：蜂谷葉子(29期Pf)、大岡真紀子(29期Pf)

曲目：プーランク エレジー

サン＝サーンス スケルツォ

フォーレ ドリー

ドビュッシー 夜想曲より 雲・祭り

ラフマニノフ 組曲第2番 op.17 他

## ♪Clarinets Parfait vol. 9

～京都市立芸術大学クラリネット専攻卒業生によるコンサート～

日時：2011年9月19日(月) 14:00

会場：大丸心齋橋劇場(大丸心齋橋店北館14階)

出演：原田美英子(34期Cl)、山本有紀(34期Cl)、吉信博(35期Cl)、福井聡(37期Cl)、鬼頭典子(40期Cl)、伊藤祐規子(42期Cl)、永井美香(44期Cl)、吉田聖子(47期Cl)

曲目：モーツァルト 「魔笛」序曲

ムソルグスキー 「展覧会の絵」

## ♪真声会関東支部第16回定期演奏会

日時：2011年9月23日(金) 14:00

会場：新宿文化センター 小ホール

出演：熊谷房子(1期声)、奥田章子(32期Pf)、島津与外次(5期声)、曾我尚江(27期Pf)、高橋知子(32期Pf)、田中由美子(27期Vn)、辻有里子(48期Pf)、堤幸子(31期声)、成島いずみ(30期声)、文野真理(30期声)、細川裕美子(23期Pf)、丸山慶子(30期Pf)、山崎ひとみ(31期声)

曲目：シューベルト 即興曲 ハ短調op.90-1

バルトーク 3つのチーク地方の民謡

イベール 「物語」より 金の亀を使う女、白い小さなそば

コレルリ ラ フォリア

ドナウディ ああ、私のいとしい人、いつまた君に逢えるのだろうか

ウェーバー オペラ「魔弾の射手」より 君を知らずは 他

## ♪大江浩志・岩崎宇紀 デュオコンサート

日時：2011年9月25日(日) 15:00

会場：ムラマツ・リサイタルホール新大阪

出演：大江浩志(27期Fl)、岩崎宇紀(27期Pf)

曲目：丹波明 フルートとピアノのためのソナタ

バルトーク 戸外にて

リーバーマン 独白(Solioquy) 他

## ♪An Evening of Art Songs

日時：2011年10月5日(月) 19:00

会場：兵庫県立芸術文化センター

出演：藤美千代(43期声)

曲目：メシアン 三つのメロディー

ドビュッシー ビリティスの歌

## ♪土岐友季子ピアノリサイタル ～ヴェルサイユ音楽院修了を記念して～

日時：2011年10月9日(日) 14:00

会場：ゆやホール(阪急高塚線豊中駅前)

出演：土岐友季子(53期Pf)

曲目：ドビュッシー 映像第二集

ショパン 英雄ポロネーズ

バッハ 平均律1巻 No.22 b-moll

シューマン 交響的練習曲

## ♪河内勇 クラリネットのひととき

日時：2011年10月10日(月) 14:00

会場：神戸バプテスト教会

出演：河内勇(34期Cl)、福井聡(37期Cl)、福井真裕子(34期Pf)

曲目：サンサーンス クラリネットソナタOp.167

ウェーバー グランド・デュオ・コンチェルトOp.48

メンデルスゾーン クラリネット、バセットホルン、ピアノのための

演奏会用小品第2番 他

## ♪古都 des 古典

日時：2011年10月10日(月) 14:00

会場：京都府庁旧本館正庁

出演：津田佐代子(45期Fl) 他

曲目：ヴィヴァルディ ソナタ No.2

テレマン ソナタ f-moll

ベンダ フルート協奏曲

## ♪サロンで聴くバロック音楽

「ドイツバロックの肖像～a portrait of german baroque music」

日時：2011年10月16日(日) 14:00

会場：神戸御影 世良美術館

出演：大内山 薫(47期Vn)、三橋桜子

曲目：シュメルツァー ソナタ quarta

ビーバー ソナタ VIII

ムファット ヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ

テレマン ソナタ “Essercizii Musici”、ファンタジー

## ♪ピアノデュオの魅力Vol.5 ～20世紀の薫り・エスプリとロマン～

日時：2011年10月19日(水) 19:00

会場：兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

出演：蜂谷葉子(29期Pf)、大岡真紀子(29期Pf)

曲目：プーランク エレジー

サン＝サーンス スケルツォ

フォーレ ドリー

ドビュッシー 夜想曲より 雲・祭り

ラフマニノフ 組曲第2番 op.17 他

## ♪ネイヴホームコンサート ヴァイオリン&チェンバロ&ピアノの調べ

日時：2011年10月23日(日) 14:30

会場：音楽空間ネイヴ

出演：駒田さよこ(29期Pf)、相津朋子(Vn)

曲目：アラール 椿姫ファンタジー

ファリャ スペイン舞曲

バッハ イタリア協奏曲 他

## ♪コーシェリ弦楽四重奏団 Quartet Concert Vol.1

日時：2011年10月29日(土) 17:00

会場：池田市民文化会館 イベントスペース

出演：山本綾(50期Vn)、木須すみれ(51期Vn)、岡田真理子(53期Va) 江口陽子(51期Vc)

曲目：モーツァルト 弦楽四重奏曲 第17番 変ロ長調 KV458「狩」

ブリッジ 幻想四重奏曲 ヘ短調

ベートーヴェン 弦楽四重奏曲第9番 ハ長調作品59-3

「ラズモフスキー第3番」

## ♪高木知寿子&ザルツブルガーゾリステン アンサンブルコンサート

日時：2011年10月30日(日) 14:30

会場：エルセラールホール

出演：高木知寿子(27期Pf)

曲目：シューマン ピアノ五重奏曲 変ホ長調作品44

ドヴォルザーク ピアノ五重奏曲 イ長調作品81

ショパン ピアノ協奏曲第1番 ホ短調作品11

## ♪古川知子ピアノリサイタル

日時：2011年11月1日(火) 19:00

会場：兵庫県芸術文化センター 小ホール

出演：古川知子(30期Pf)

曲目：バッハ=ブゾーニ シャコンヌ

ラヴェル ソナチネ、高雅にて感傷的なワルツ

ショパン バラード 1～4

## ♪親子で歌いごう日本の歌 ～秋の巻～

日時：2011年11月3日(木) 14:00

会場：ギャラリーかめおか 響ホール

出演：片山映子(27期声)、美馬美紀(30期声)、橋本 尚(35期Pf)

曲目：平成19年文化庁・(社)日本PTA全国協議会選定により発表された「親子で歌いごう日本の歌」より秋の歌を中心に約20曲。

## ♪Solon Concert

日時：2011年11月20日(日) 15:00

会場：モーツァルトサロン

出演：藤美千代(43期声)

曲目：コルンゴルド 不滅Op.27

## ♪大石和子ピアノリサイタル

日時：2011年11月21日(月) 14:00

会場：ルーテル市ヶ谷ホール

出演：大石和子(22期Pf)

曲目：モーツァルト 幻想曲ニ短調K.397

きらきら星変奏曲K.265

ショパン ワルツ Op.69-1、69-2

スケルツォ第2番 Op.31

バラード第1番Op.23 他

## ♪クラムジカ第5回公演「天と地のコスモロジー」

日時：2011年11月23日(水) 15:00

会場：しがぎんホール

出演：上中あさみ(38期打)、森本英希(43期Fl)、藤原博司(39期Ob)、川端賢一(56期Cl)、大西泰徳(49期Vc)、栗辻聡(56期指揮)、中村典子(32期作)、増田真結(51期作) 他

曲目：バルトーク ミクロコスモスより

清水慶彦(48期作) 回旋譜  
中村典子(32期作) 時之揺籃、泪之瓔珞 他

♪室内楽の楽しみ ～ウィーンの楽聖たち～

日時：2011年11月26日(土) 14:30  
会場：神戸・世良美術館  
出演：高橋宏明(33期Vc) 武田佳美(34期Pf)、島戸祐子(Vn)  
曲目：モーツァルト ピアノソナタk.331イ長調「トルコ行進曲付」  
ベートーベン チェロソナタ第3番op.69 イ長調  
シューベルト ピアノ三重奏曲第1番op.99 変ロ長調

♪糸井博己テノールリサイタル ～ダルトン・ボールドウィン氏を迎えて～

日時：2011年11月27日(日) 14:30  
会場：青山音楽記念館バロックザール  
出演：糸井博己(21期声) ダルトン・ボールドウィン  
曲目：ラヴェル Cinq melodies populaires grecques  
シューベルト Wohin?, Mein!  
中田喜直 さくら横ちよう、たんぼぼ 他

♪アフター・アワーズ・セッション ～ボヘミアを吹き抜ける風～

日時：2011年12月2日(金) 18:30  
会場：東梅田教会  
出演：右近恭子(25期Pf) 日比浩一(29期Vn) 松原央樹(29期Cl) 池村佳子(45期Vc)  
曲目：ゼレンカ トリオソナタ第3番 B-dur  
マルティヌー ピアノと木管のための六重奏曲  
ドヴォルザーク ピアノ四重奏曲 Es-dur op.87

♪J.S.Bach 平均律クラヴィーア曲集 全曲演奏会Vol.4 第2巻第13番～24番

日時：2011年12月3日(土) 14:00  
会場：京都青山音楽記念館バロックザール  
出演：水野久美(29期Pf)、岡田ミサ子(37期Pf)、浅井佳代(37期Pf)、蜂谷葉子(29期Pf)、古川五巳(元京都市立芸術大学教授Pf)、嶋雅子(28期Pf)、鈴木愛子(44期Pf)、田村幸造(36期Pf)、山下由香(26期Pf)、姫野真紀(38期Pf)、佐々木和佳(34期Pf)  
曲目：バッハ 平均律クラヴィーア曲集 第2巻第13番～24番

♪山崎祥代ピアノリサイタル 'ショパン&リスト'

日時：2011年12月4日(日) 15:00  
会場：京都堀川音楽高等学校ホール  
出演：山崎祥代(45期Pf)  
曲目：ショパン バラード第3番、ノクターン第13番、ワルツ第5番、スケルツォ第4番、舟歌  
リスト 泉のほとりで、波を渡るパオラの聖フランシス、コンソレーション(慰め)より、ハンガリー狂詩曲第2番

♪ベートーヴェン35のソナタ ～多川響子ピアノソナタ完全全曲リサイタルvol.9最終会

日時：2011年12月11日(日) 15:00  
会場：ザ・フェニックスホール  
出演：多川響子(44期Pf)  
曲目：ベートーヴェン ピアノソナタ第3番op.2-3 選帝侯ソナタWoO.47-1  
ピアノソナタ第24番op.78「テレゼ」  
ピアノソナタ第32番op.111

♪Unmarked Singers クリスマスコンサート

日時：2011年12月11日(日) 17:00  
会場：島之内教会  
出演：奥田聖子(48期声)、丸山依里(48期声)、藤原さおり(46期声)、柏森綾乃、沖正樹(55期声)、坂本晃一(55期声)、藤野豊(52期声)、樋口卓哉(55期声)、仲香織(46期Pf)  
曲目：T.L.deヴィクトリア アヴェマリア  
J.ラター キャンドルライトキャロル  
クリスマス曲 ジングルベル、きよしこの夜、サンタが街にやってくる、もみの木 他

♪コチの会・東風 第3回公演「あらたかな時」

日時：2011年12月13日(火) 19:00  
会場：アトスペース Hase二条城前  
出演：熊谷美紀(31期作)、加藤ユミコ(32期作)、中村典子(32期作)、福原左和子(箏)、吉岡アカリ(フルート・東フィル首席)、高橋曜子(ピアノ作曲)  
曲目：高橋曜子 地の涙 加藤ユミコ 青と祈り  
熊谷美紀 一条辰橋 八橋検校 六段  
高橋曜子 今様三態 中村典子 蓮月心

♪松田麻実・上田明美デュオリサイタル ～グリーグヴァイオリンソナタ全曲演奏会～

日時：2012年1月9日(月・祝) 14:00  
会場：びわ湖ホール 小ホール  
出演：松田麻実(桐朋卒) 上田明美(44期Pf)  
曲目：グリーグ ヴァイオリン ソナタ 第1番 ヘ長調 作品8  
ヴァイオリン ソナタ 第2番 ト長調 作品13  
ヴァイオリン ソナタ 第3番 ハ短調 作品45

♪日本テレマン協会新春特別演奏会 荒憲一プロデュースによる～ピアノ協奏曲の饗宴～

日時：2012年1月15日(日) 15:00  
会場：いずみホール  
出演：山田真由美(36期Pf)  
曲目：W.A.モーツァルト：ピアノ協奏曲第21番ハ長調K.467

♪北村奈美・ヴァイオリン リサイタル

日時：2012年1月29日(日) 14:00  
会場：ムラマツ リサイタルホール 新大阪  
出演：北村奈美(39期Vn) 中井由貴子(40期Pf)  
曲目：ベートーベン ヴァイオリン・ソナタ第5番 ヘ長調 作品24「春」  
チャイコフスキー なつかしい土地の思い出 作品42  
ラヴェル ツィガーヌ  
ドヴォルザーク 4つのロマンティックな小品 作品75  
ブラームス ヴァイオリン・ソナタ第3番 二短調 作品108

♪現代音楽+aのタペ

日時：2012年2月5日(日) 18:00  
会場：京都北文化会館創造活動室  
出演：永野伶実(53期Fl) 他  
曲目：武満徹 ヴォイス、海へ  
ピアソラ タンゴの歴史  
イサン・ユン 2本のフルートの為のインベンション 他

♪トリオ・アンダンテ リサイタル

日時：2012年2月16日(日) 14:00  
会場：秋篠音楽堂  
出演：雪原典子(25期Pf)、小川有紀子、林口眞也、佐々木千壽  
曲目：ドヴォルザーク ヴァイオリンとピアノのためのソナチネ  
ショスタコーヴィッチ ピアノ三重奏曲第2番  
フォーレ エレジー  
シューマン ピアノ三重奏曲第2番

♪林田明子ソプラノリサイタル(財)青山財団助成公演

日時：2012年2月19日(日) 15:00  
会場：青山音楽記念館バロックザール  
出演：林田明子(37期声)、船橋美穂(25期Pf)  
曲目：リスト ローレイ、夢に来ませ、三つのペトランカによるソネット 他  
グリーグ バラの季節に、口の堅いナイチンゲール、夢 他

♪ジョイントコンサートPlayPlayPiano

日時：2012年2月25日(土) 14:00  
会場：世良美術館  
出演：増田智子(50期Pf) 他  
曲目：ベートーヴェン ピアノソナタ第14番「月光」  
ラヴェル 水の戯れ  
ジル＝マルシェックス 古き日本の絵二題 他

♪Flute & Piano Concert

～樋口 薫&根岸 恵大学院修了記念ジョイントリサイタル  
日時：2012年3月4日(日) 14:00  
会場：茨木市市民総合センター クリエイトセンター・センターホール  
出演：根岸恵(55期Pf)、樋口 藍(神戸女学院大学)  
曲目：リスト 愛の夢 第3番 変イ長調  
ラヴェル 夜のガスパール  
ヴィドール 組曲Op.34  
C.P.E.バッハ ハンブルガー ソナタ ト長調 Wq.133 他

♪福永圭子・成瀬当正ジョイントリサイタル

日時：2012年8月3日(金) 19:00  
会場：京都府立府民ホール アルティ  
出演：福永圭子(35期声) 他  
曲目：シューマン 「詩人の恋」op.48全曲  
ブラームス 「ジプシーの歌」op.103、4つの二重唱曲 op.28 他

※演奏会の真声会後援および会報掲載は会費納入者のみとさせていただきます。どうぞご了承ください。

**訃報** 平成23年8月 森田佳子さま(16期声楽)がご逝去されました。慎んでお悔やみ申し上げます。

**編集後記** 7月の総会後、新役員での体制がスタートしました。引き続き、編集を担当させていただくことになりました。また4年…と思うと気が遠くなりますが、嬉しいことに、編集委員に若い後輩たちが入ってくれました！昨日の運営委員会でも大先輩方に「若いのに…」と言われてしまう、実はパソコンの苦手なアナログ人間の私としては、大変心強い仲間です。4年間、どうぞよろしくお願ひします。さて、この前「芸大創立130周年」をやったばかりと思っていたら、次は「音楽学部60周年」がやってきます。そういえば私の在学中に50周年がありました。当時は歴史もなにもわからないまま演奏していましたが、今度は外から、芸大の歴史を感じつつ、応援したいと思っています。卒業生の皆さまのお祝いの気持ちもお寄せいただけたら幸いです。(O)